



『怪談小説という名の小説怪談』

澤村 伊智/著

深夜の高速道路で始まる怪談会や子連れで散歩中に遭遇した呪いの物件など。ホラーとミステリ両界の旗手が、更なる戦慄へと塗り替える著者真髓特濃短編集。



夜

『リスタクシー』

もとやす けいじ/著



リスタクシーの運転手はリス。運賃はリスの大好物の木の実。自慢の身軽さで目的地までスイスイご案内します。細部まで描き込まれていて読むたびに新しい発見がある楽しい絵本です。

香

『ミイラのなぞをとけ おとうとうさぎ!』

ヨンナ・ビョルンシェーナ/作 ヘレンハルメ 美穂/訳

おばあちゃんうさぎのはじめた、こわ〜いところにある迷路のようなホテルにはおばけやモンスターばかり泊りに来ます。夜中に居なくなったおばあちゃんを探しに、主人公のうさぎとホテルを冒険してみよう!



野

『3びきのかわいいオオカミ』

ユージーン・トリビザス/文
ヘレン・オクセンバリー/絵 こだま ともこ/訳

家を出たかわいい仔狼たちは最初からレンガの家を、果ては堅牢な鋼鉄製のシェルターを建設するが・・・。「3びきのこぶた」をすてきにひねった愉快なお話。



夜

『火葬場奇談』

下駄 華緒/著



誰もがいつかは行く場所なのに、その実態をあまり知られていない火葬場。元火葬場・葬儀屋職員の著者が火葬場の裏側を紹介。火葬場の見方が変わる1冊です。

香

『歯の話をしませんか?』

熊谷 靖司/著



体のために運動したり、栄養や生活習慣を気を付けると同じように、口の中を整えて健康偏差値を上げる方法をご紹介します。口から始める健康法を試してみませんか?

野

11月のおはなし会

(中止になる場合があります)

内容	日にち	場所	時間
絵本読み聞かせ	毎週土曜日	野市図書館	10:00~11:30
なんじゃもんじゃ	第1~第4土曜日	香我美図書館	10:30~11:00

※11月のおはなし会について

・入室制限のため、おはなし会の部屋への入室は2組までとします。
・マスク着用のご協力をお願いします(乳幼児はマスクなしでOK)。
ご不明な点は、図書館へお問い合わせください。

問い合わせ

- 野市図書館 ☎56-3434
- 香我美図書館 ☎55-0022
- 夜須図書室 ☎54-2121

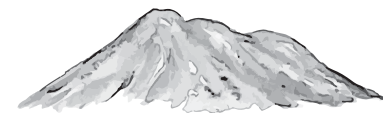
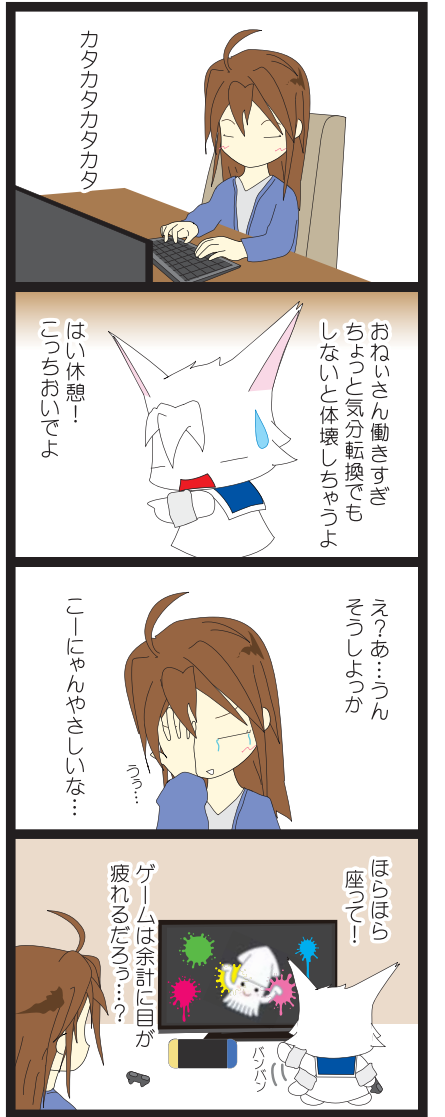
★休館(室)日は別紙カレンダーを参照

文芸 百人一首・短歌・俳句の会

問合せ 代表者 小松 宏子 ☎56 2472

白雲の映ゆる水面に秋見えてただただ見つむひとり寂しく
ワクチンの叶わぬ体質コロナ禍の誰れに似たるやうから世に在らず
手におえぬ雑草の中草刈りに頑張りし母の姿偲びぬ
蝸が季の移りを告げる如コスモス揺らす風の清しき
漆黒の峰にふたつの角出でし眼光にも見ゆ戯るる弦月
秋冷の心に置きたしうす紅の芙蓉の一枝癒さるる朝
晩秋の風車は雲をけちらして陽は燦々と尾根に降りくる
テレビより「月の砂漠…」の流れくる友との幼日ただに淋しき
しなやかな串やきの鮎四万十川の青春のダイビング夫を偲びぬ

- 市来原 美津子
- 片桐 宏子
- 徳弘 光代
- 中村 かよこ
- 中村 孝枝
- 橋田 茂子
- 本谷 和子
- 森本 千富
- 小松 宏子



吉川町短歌をたのしむ会



「吉川町短歌をたのしむ会」は、短歌の愛好者で構成されており、昭和50年代ごろから活動をしています。
もともとは、月一回講師の先生をお招きして、集会所で歌会を開催していましたが、講師の方や会員の方が他界していくなかで会員が減少し、ほそぼそと作歌活動をしています。
この約三年間はコロナ禍で会員が集まることもなく、香南市の広報や吉川町の文化祭での発表に向け、各自が日々感じたことや家族を想う心、季節の移り変わりなどを三十一文字にして楽しんでいきます。
代表者は歌人ではありませんが、前代表の後を受け継ぎ、一ヶ月に一度、京都の歌会に参加し歌の力をつけるようにしています。課題は会員の拡大です。
ぜひ、ご一緒に短歌を作りませんか?
取材・写真/生涯学習課生涯学習係



- 地区名:吉川町
- 会員数:6人
- 練習日:各自適宜
- 練習場所:各自適宜
- 問い合わせ: 松田美津子 ☎090-7143-2640

